



Catfish causing earthquakes
Comic song
19c Namazu Painting



文化財の防災を考える

—西日本豪雨の経験から—

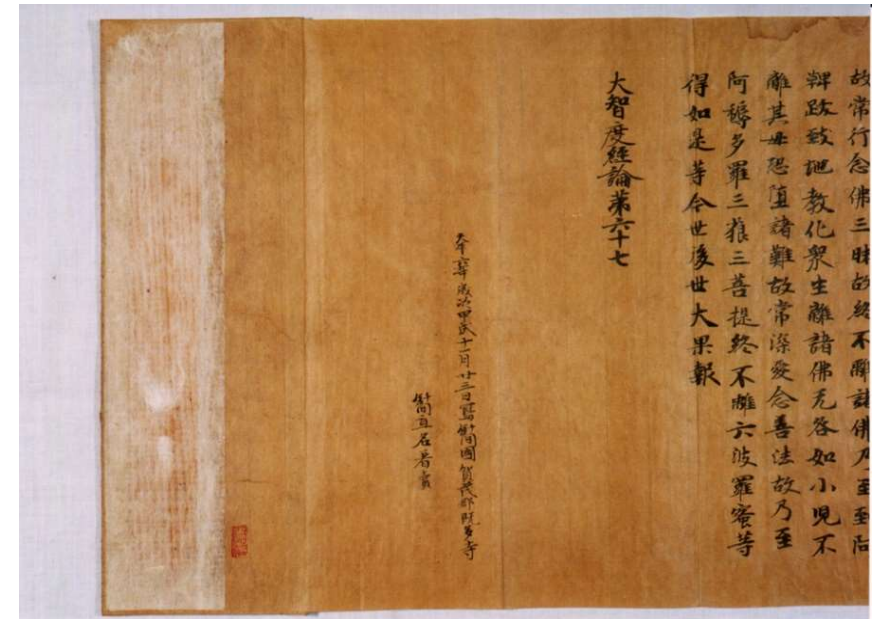
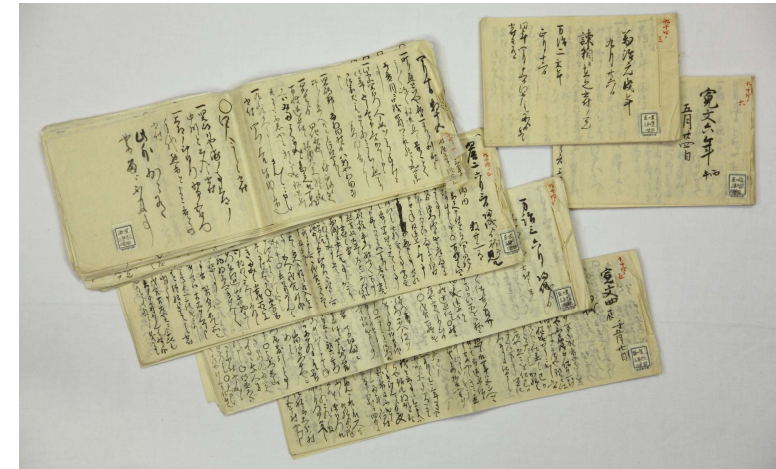
今津勝紀

岡山大学・岡山史料ネット

2022/10/12



岡山大学池田家文庫 岡山藩の一括藩政史料



島根大学の天平6年（734）大智度論



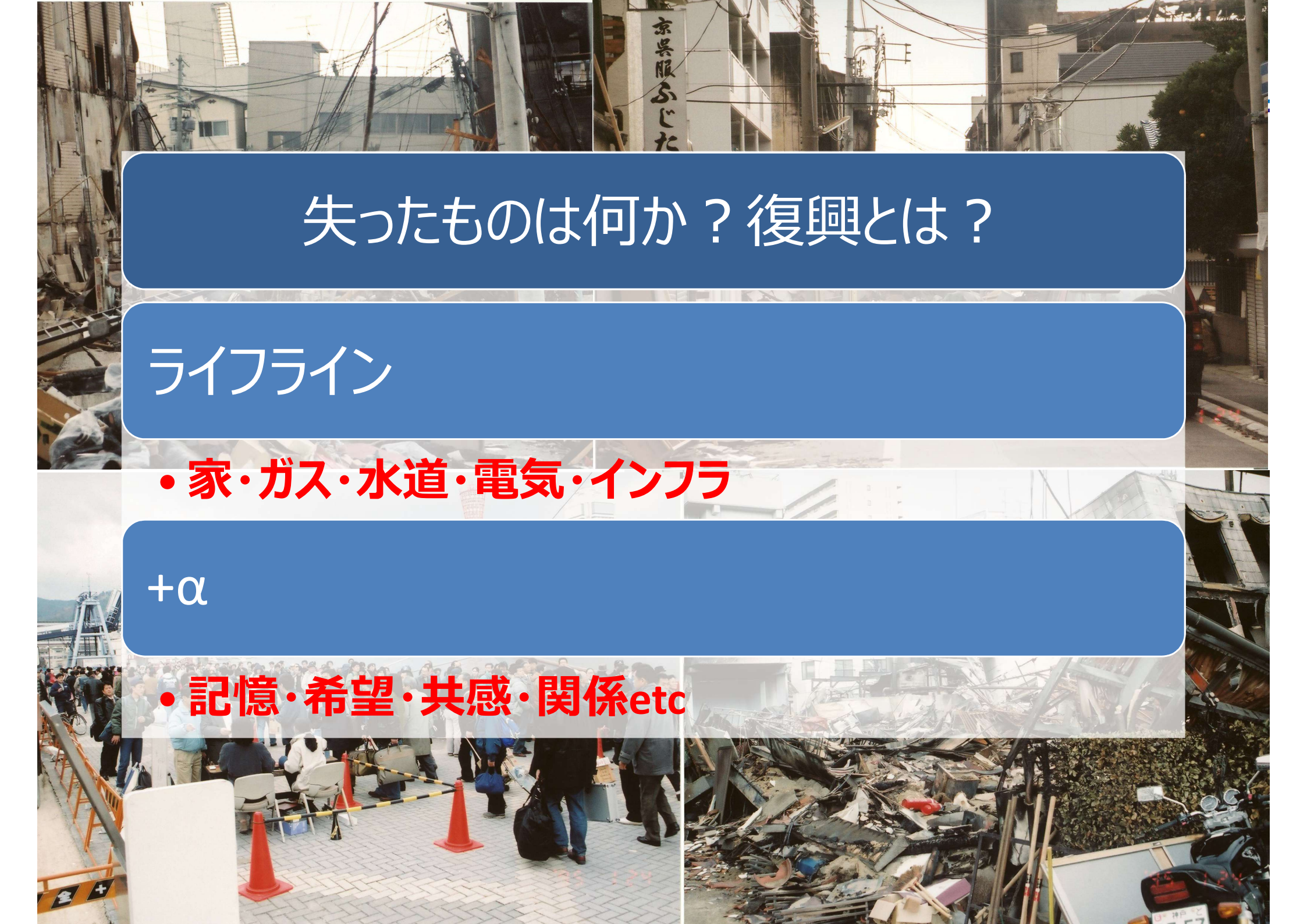
Disasters and Human Life —Distinctive Roles of History and Culture—

19/09/2022



Rescuing and Preserving Historical Documents and Materials during and after Natural Disasters

19/09/2022

The background of the slide is a collage of four photographs showing the aftermath of a disaster. The top-left photo shows a street with damaged buildings and many overhead power lines. The top-right photo shows a street with a building that has a sign reading '京呉服ふじた' (Kyō Rukufu Fujita). The bottom-left photo shows a large crowd of people gathered on a street, with orange traffic cones and yellow-and-black striped caution tape in the foreground. The bottom-right photo shows a large pile of debris, including metal, wood, and household items, with a motorcycle partially visible in the foreground.

失ったものは何か？復興とは？

ライフライン

• 家・ガス・水道・電気・インフラ

+α

• 記憶・希望・共感・関係etc

歴史資料ネットワーク（史料ネット）の誕生



岡山大学
OKAYAMA UNIV.

- 被災史料救出活動（レスキュー活動）
- 巡回調査（パトロール活動）
- 救出史料仮整理作業
- 埋蔵文化財保全活動
- 震災保存記録
- 市民の歴史意識へのはたらきかけ



■ 捨てればゴミ、守れば遺産



- 地域の歴史がわかる、その家の歴史・ルーツがわかるもの
→ 失われたら、もう二度と復元することができない
（失われたあとから気づくもの）
→ 地域に守り継がれた・残された「遺産」
- 「地域歴史遺産」という考え方
cf. エコロジー 「捨てればゴミ、使えば資源」

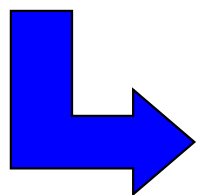


復興に必要な地域認識

■ 地域歴史資料とは？



- **古文書**（くずした文字で和紙に書いたものなど）
- **古い本**（和紙に書かれて冊子にしてあるものなど）
- 明治・大正・昭和の**古い本・ノート・記録**（手紙や日記など）・**新聞・写真・絵**
- **古いふすまや屏風**（古文書が下貼りに使われている場合があります）
- 自治会などの**団体の記録や資料**
- 農具、機織りや養蚕の道具、古い着物など、**物づくりや生活のための道具**など



歴史資料は、国や県や市町村による指定文化財
だけではない



2000年 鳥取県西部地震での岡山大学の歴史資料のレスキューチーム

事実上の岡山史料ネットのスタート
公式には2005年発足



2009年の台風による洪水被害

美作ではレスキューできず

下: 佐用町でのレスキュー(神戸ネット)





鳥取県西部地震から2カ月近くたち、鳥取や岡山県でも復興のつち音が聞こえ始めた。半面、家屋の解体撤去に伴って、古文書や民具などの歴史資料が廃棄の危機に直面。「地域の歴史に空白を作るな」と、岡山大など中国、近畿地方の研究者や学生らが、歴史資料を救出するボランティア活動を繰り返し広げている。鳥取県日野町での救出活動を同行取材した。(文化家庭部・若嶋充宏)

——西部地震被災の鳥取・日野——

岡山大研究者らがボランティア

「唐さんが来なければ、捨てるつもりだったんだけどね」。日野町黒坂、写真店経営の井上さん(55)は、解体準備が進む納屋から古い農具などが運び出されるのを見つづけていた。震源に近い同町では、全壊百二十戸を含め、ほぼ全世帯に当たる約千五百戸が被災。被害が深刻で、家屋の解体も進み始めており、歴史資料の保全は一刻を争う状態だ。

この日の活動には、岡山大学文学部の今津勝紀助教授ら岡大の7人をはじめ、鳥取、島根、兵庫県と京都府から約30人が参加した。活動の核は、歴史資料情報保全ネットワーク(略称「史料ネット」、代表・興村弘神戸大助教授)。五年前の阪神大震災時に若手研究者で結成し、阪神・淡路大震災

家屋解体で廃棄の危機



古文書、民具、町内会報……貴重な史料「救出」

地域の歴史守りたい

分の資料を救出した実績とノウハウを持つ。

参加者は、井上さん方での救出作業のほか、数チームに分かれて旧出雲往來の宿場町・根雨地区の被災家屋をパトロール。歴史的な風情を残す町並みにも、屋根や壁を覆う青シートが目立ち、家の解体や荷物を運び出す光景が所々で繰り返られていた。

の連携だけが課題ではない。資料は、持ち主の生活再建が成った段階で返却されるが、それまでの事故や盗難を確保できるか。貴重な財力で家学を営む家や、史料ネットの活動をPRしてくれたが、メンバーは頭を悩める。

「史料は古くは中世のものから現代のものまで、被災家屋のバトロールで古文書類を発見、持ち主(左から2人目)から由来などを聞く史料ネットメンバーたち」

「鳥取県日野町の根雨地区」

「史料は古くは中世のものから現代のものまで、被災家屋のバトロールで古文書類を発見、持ち主(左から2人目)から由来などを聞く史料ネットメンバーたち」

「鳥取県日野町の根雨地区」

「史料は古くは中世のものから現代のものまで、被災家屋のバトロールで古文書類を発見、持ち主(左から2人目)から由来などを聞く史料ネットメンバーたち」

「鳥取県日野町の根雨地区」

「史料は古くは中世のものから現代のものまで、被災家屋のバトロールで古文書類を発見、持ち主(左から2人目)から由来などを聞く史料ネットメンバーたち」

「鳥取県日野町の根雨地区」

「史料は古くは中世のものから現代のものまで、被災家屋のバトロールで古文書類を発見、持ち主(左から2人目)から由来などを聞く史料ネットメンバーたち」

「鳥取県日野町の根雨地区」

「史料は古くは中世のものから現代のものまで、被災家屋のバトロールで古文書類を発見、持ち主(左から2人目)から由来などを聞く史料ネットメンバーたち」

「鳥取県日野町の根雨地区」

「史料は古くは中世のものから現代のものまで、被災家屋のバトロールで古文書類を発見、持ち主(左から2人目)から由来などを聞く史料ネットメンバーたち」

「鳥取県日野町の根雨地区」

「史料は古くは中世のものから現代のものまで、被災家屋のバトロールで古文書類を発見、持ち主(左から2人目)から由来などを聞く史料ネットメンバーたち」

「鳥取県日野町の根雨地区」

「史料は古くは中世のものから現代のものまで、被災家屋のバトロールで古文書類を発見、持ち主(左から2人目)から由来などを聞く史料ネットメンバーたち」

集中豪雨被害に見舞われた美作市で民家などに眠る史料の散逸を防ぐと、県内の大学教員や郷土史家らでつくる「岡山史料ネット」は28日、現地調査に乗り出した。被災家屋を訪れ、濡れたり汚れたりした史料の保全を呼び掛けた。(洞井宏太)

文書や写真散逸防げ

岡山史料ネット 美作の被災地で調査開始



水害に遭った家を訪ね、史料の保全を呼び掛ける今津代表(左)＝28日、美作市土居

ちらし配り保全訴え 応急処置や冷凍保存も

代表の今津勝紀・岡作市原Ⅱが床上・床下実態を調査。住民に史山大大学院准教授(目 浸水などに遭った旧料の応急処置方法を記本史学)と郷土史家の 出雲街道の宿場町・土したちらしを手渡し安東靖雄さん(77)＝美 居地区で、家屋の被害た。

ちらしには保全が必 け、2005年に発足。要な史料として、各戸 今回の集中豪雨で甚大な被害が出た同県佐用町でも、今津代表が神戸大の研究者らとともに調査。水に漬かった消毒用エタノールを噴霧、陰干して腐敗を防ぐなど応急処置方法を記している。

今後、見つかった史料は同ネットが一時的に預かり、冷凍保存。水分を取り除く「真空凍結乾燥(フリーズドライ)」などの処置を施し、持ち主に返す。2人はこの日、同市教委も訪問。市内に残る史料に関する情報提供の協力を求めた。 okayama-u.ac.jp

文化財は後回し。役所の縦割り。

文化財行政 = 埋蔵文化財行政？

指定文化財と未指定文化財

物理的・心理的距離

岡山史料ネットの発足



岡山大学
OKAYAMA UNIV.

2009年度史料ネットセミナー

災害から歴史遺産を守る！

●今津勝紀(岡山大学)

「歴史遺産の保全と活用をめぐる地域力」

●松下正和(神戸大学)

「水害と歴史資料」

●河野未央・吉原大志(神戸大学)

「水損した歴史資料の保全方法」

参加無料！！
あなたも体験して
みませんか？



*日時:2010年2月13日(土) 13:30~17:00

*場所:瀬戸内市中央公民館多目的ホール
〒701-4221 瀬戸内市邑久町尾張465-1

●主催

岡山史料ネット・岡山県立記録資料館・岡山大学文学部

●後援

瀬戸内市教育委員会

問い合わせ先 〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

岡山大学文学部日本史研究室

今津勝紀 (086-251-7408 kimazu@cc.okayama-u.ac.jp)



この事業は、科学研究費補助金「大規模自然災害時の史料保全調査を基礎とした地域歴史資料科学の構築」(基盤研究(S))研究代表者 興村 弘の一環です。

講演会・ワークショップの開催
所在データベースの作成



Earthquakes with fatalities

- 95/1/17 Hanshin-Awaji Earthquake
- 00/7/1~8/18 Niijima・Kozushima・Miyakejima(islands)
- ◆ 00/10/6 Tottori west
- 01/3/24 Hiroshima/Ehime
- 03/5/26 Iwate Sanriku 7/26 Miyagi North 9/26 Hokkaido Tokachi
- 04/10/23 Niigata Mid
- 05/3/20 Fukuoka west 05/8/16 Miyagi south
- 07/3/25 Noto peninsula 07/7/16 Niigata Mid
- 08/6/14 Iwate・Miyagi 7/24 Iwate north
- 11/3/11 Great East Japan Earthquake
- 16/4/15・16 Kumamoto
- 18/6/18 Osaka 9/6 Hokkaido Iburi
- 21/2/13 Fukushima
- 22/3/16 Fukushima

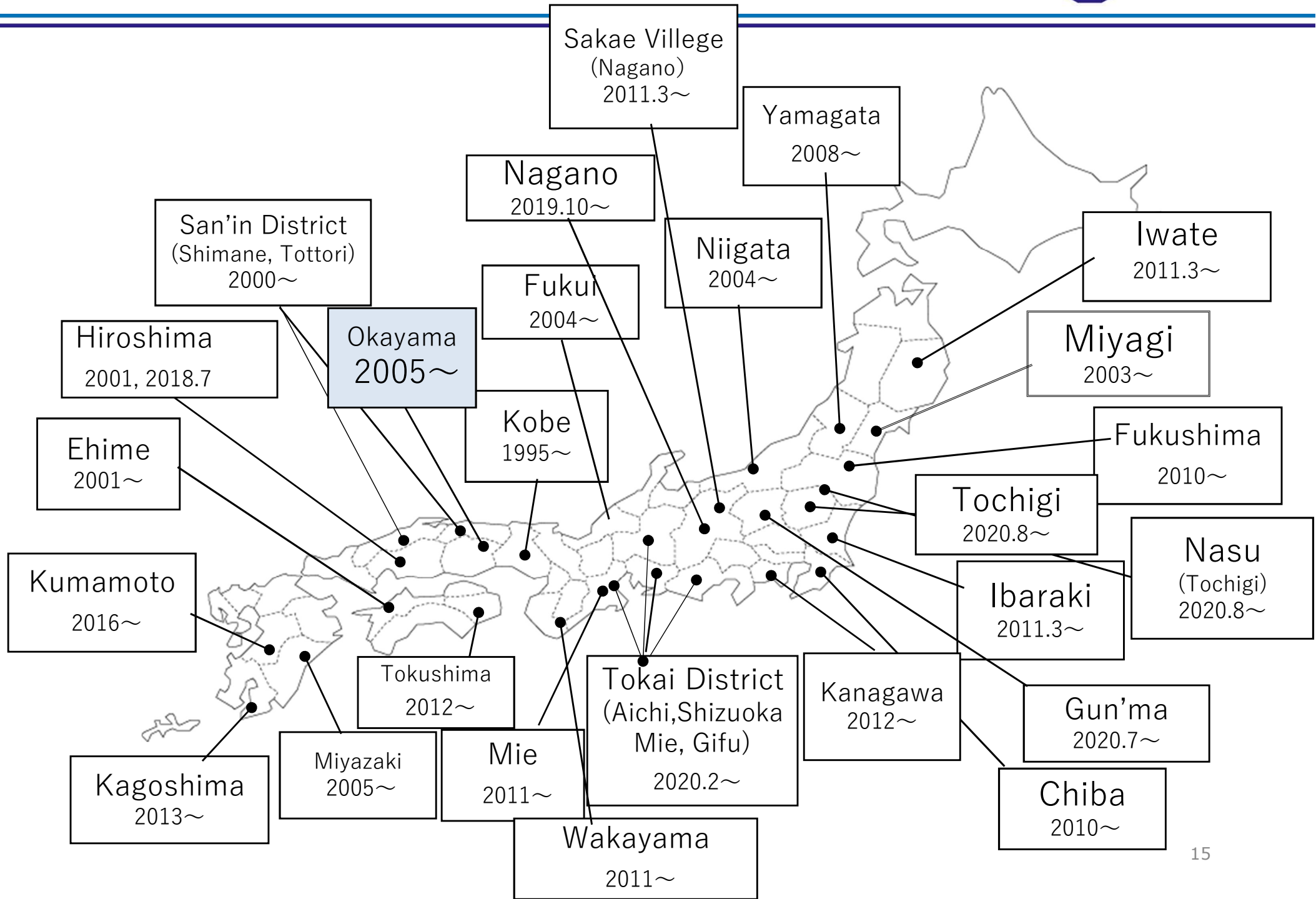
Floods : Shiryo net in action

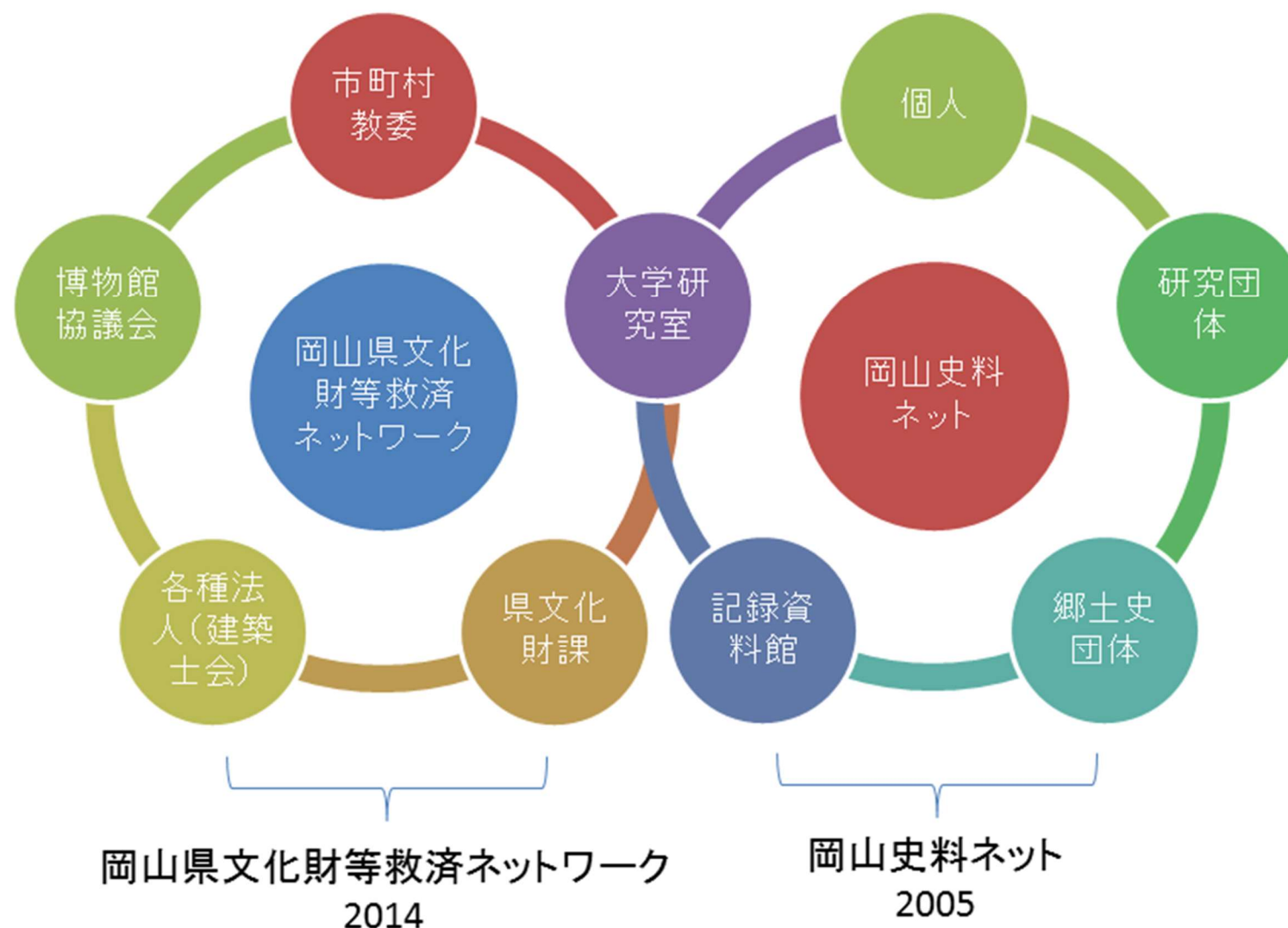
- 04/7 Niigata/Fukushima/Fukui, 10 Toyooka/Tango
- 08/8 Torrential rain
- 09/7 West Japan Torrential rain, 09/8 Typhoon No. 9 Mimasaka/Sayo
- 11/7 Niigata・Fukushima Torrential rain
- 12/7 North Kyushu Torrential rain
- 14/8 Landslide Disaster in Hiroshima City Caused by Torrential Rain
- 15/9 Torrential rains in Kanto and Tohoku (Kinugawa River bursts, flooding in Joso)
- 17/7 Torrential rain in northern Kyushu
- 18/7 Torrential rain in West Japan
- 19/10 Typhoon No. 19 (Chikuma River break, Nagano flooding)
- 20/7 Hitoyoshi torrential rain

3.11 文化庁長官の呼びかけ

東北地方太平洋沖地震被災文化財の救援と修復に御協力を
(文化庁長官近藤誠一) 2011.4

指定・未指定を問わず文化財は、我が国はもとより人類が未来にわたって共有すべき貴重な財産であり、これらを後世に伝えていくことが、現代に生きる私たちの責務です。そのためにまずやらなければならないことは、今回の地震や津波によって被災した文化財や美術品等を緊急に保全し、今後予想される損壊建物の撤去等に伴う廃棄・散逸あるいは盗難等の被害から防ぐことです。





提言 2018

本年1月に第4回全国史料ネット研究交流集会在岡山で開催された。史料ネットは、1995年の阪神淡路大震災をきっかけに、壊れた家の解体で歴史資料が一緒に廃棄されることのないよう、文化財を救出するために生まれた市民参加型のボランティアに出発点があり、現在では全国で24の組織が誕生している。

岡山では2000年の鳥取県西部地震に際して備中地方北部でも被害が発生するが、発災後に現地入りしても、史料の所在も分から

災害からの文化財救済

岡山史料ネット代表 今津勝紀氏



即応できる協力態勢を

ない状態で、地元住民の協力も得られず、結局、文化財を救出することができなかった。この反省をもとに、大規模災害に事前に備える日本最初の予防型ネットワークとして、05年に岡山史料ネットが発足した。郷土史サークルや研究者、

と協力して、市町村史などから史料の名前と時代、所蔵者、所在地を抜き出し、データベース化に取り組んでいる。

史料ネットワーク運動は、広くは文化財保存運動の一環であるが、人々の生活に即した地域資料の保全と活用も考える点で、被災した地域社会の復興の運動、いわば町づくりの運動としての意味をもつ。私たちは危機を乗り越えるにあたり、過去を振り返るのだが、それは私たちが生きることが過去の記憶となり支えられているからで、記憶

が欠如した途端、これからどこに行くのか、自分が何者であるのかすら分からなくなってしまう。私たちの生活に過去の記憶は不可欠なものであり、これは町もまた同様である。

岡山でも温帯の気候がよく知られるが、私たちが生活する場には物語があり、先人が生きた事実が存在する。こうした物語や事実の

根拠となるのが地域の歴史遺産なので、これを災害は奪い去るのである。遺跡や遺物、古文書など過去の痕跡だけでなく、現代に生きる人々の生活の痕跡など、これから地域の歴史遺産となりうるものも。これでは町の記憶が途絶えてしまい、復興のよりどころを失うことになる。記憶には厄介なところがあり、選別され、時に改変される。信じた記憶と事実の間に距離が生じることもある。人々が記憶する物語が衝突するのは当然だし、記憶や物語が統制されるようなことがあっても危険である。

そう遠くない時期に南海地震が発生するのは確実であり、近年では各地で集中豪雨による被害も頻発している。岡山も決して災害と無縁ではない。

岡山には多くの歴史系サークルがあるが、それぞれの郷土の過去にどのような災害が起きたかを検証するとともに、再び被害が想定される地域に未指定の文化財も含めてどのような歴史遺産があるのか、あらかじめリストを作っておくのは有効だ。またボランティアの活動には限界があるので行政の支援も不可欠。14年には岡山史料ネットも含め、建築士会や博物館、美術館、大学、市町村教委などを結びつける「岡山県文化財等救済ネットワーク」がスタートしたが、万が一の際に必要な資料や救済資料の保管場所など、即応できる協力態勢を整えるとともに、水に濡れた古文書の乾かし方や写真の撮り方など技術の普及も期待したい。

山陽新聞

4月15日 日曜日
発行所 山陽新聞社
岡山市北区朝町2-1-1
新聞製作センター
岡山市北区新国敷町1-1-18

第4回 全国史料ネット 研究交流集会

一九九五年の阪神・淡路大震災以降、全国各地で二十以上の史料ネットが立ち上がり、災害から歴史資料を保全し、災害の記録を保存する活動に取り組んでいます。また、二〇一四年には国立文化財機構内に文化財防災ネットワーク推進本部が設置され、歴史・文化遺産の防災に向けた全国的な連携体制づくりの強化が望まれています。

二〇一五年に始まったこの集會も四回目をむかえ、今年度は岡山で開催するのは二回となりました。これまでの集會においては災害「後」の取り組みだけでなく、災害「前」の日常的な取り組みの議論と交流を深めていきたいと思います。

【日時】二〇一八年一月二十日(土) 十三時～十七時三十分

一月二十一日(日) 九時三十分～十三時

【会場】ノートルダム清心女子大学・カリタスホール
(岡山市北区伊福町二二六九)

▼入場無料 ▼申込不要



主催：第4回全国史料ネット研究交流集會実行委員会
独立行政法人国立文化財機構

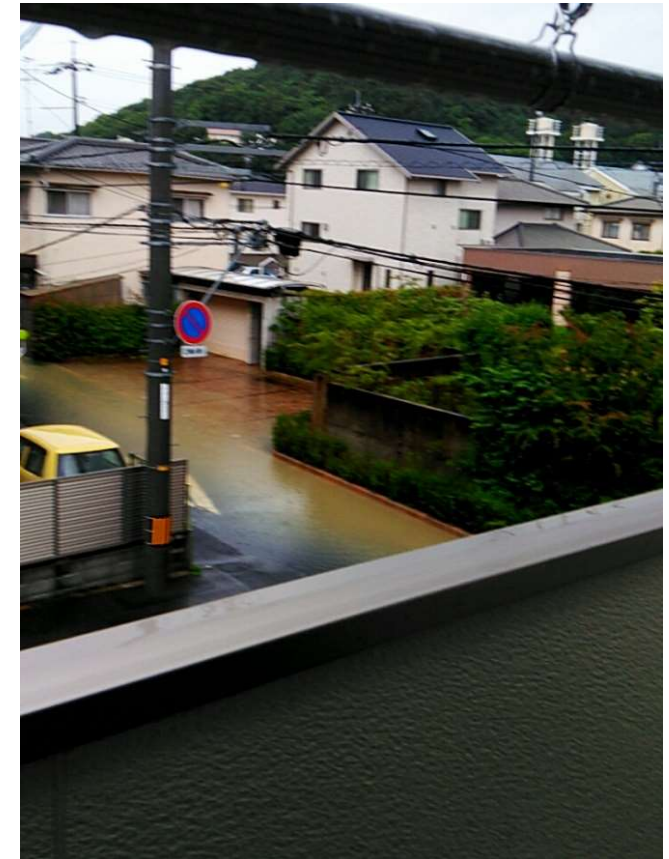
共催：人間文化研究機構／科学研究費支援研究5「災害文化形成を扱う地域歴史学」の確立—日本大震災を機に—(研究代表者・奥村弘)研究グループ
後援：茨城文化財・歴史資料保存・協会ネットワーク／岩手県歴史文化ネットワーク／NPO法人宮城歴史資料保存ネットワーク／NPO法人歴史資料保存機構ジャパン／愛媛県史料ネットワーク／岡山史料ネット／鹿児島県歴史資料保存ネットワーク(準備会)／神奈川県地域資料保存ネットワーク／熊本県歴史資料保存ネットワーク／山陰県歴史資料ネットワーク／静岡県文化財等救済ネットワーク／地域史料保存有志の会／千葉県歴史・自然資料救済ネットワーク／長野県歴史・自然資料救済ネットワーク／新潟県歴史資料保存ネットワーク／福井県史料ネットワーク／ふくしま歴史資料保存ネットワーク／三重県歴史・文化遺産保存活用推進ネットワーク／宮崎県歴史資料ネットワーク／山形県文化遺産防災ネットワーク／歴史資料ネットワーク／歴史資料保存ネットワーク／徳島県歴史資料保存ネットワーク／わかやま県山形近代史研究会／岡山県図書館協会／岡山県歴史研究会／岡山県郷土会／考古学研究会

●問い合わせ先
第4回全国史料ネット研究交流集會実行委員会事務局
今津勝紀(岡山史料ネット、岡山大学)
E-mail: kimatsu@cc.okayama-u.ac.jp



平成29年度 愛媛県・歴史博物館
歴史資料保存推進事業

岡山大学
OKAYAMA UNIV.



高梁川水系小田川における浸水・被害状況

小田川(倉敷市真備町)では、**洪水浸水想定区域と実際の浸水範囲がほぼ一致にもかかわらず、51名が死亡。特に死者の約8割が70歳以上。**

[ホーム](#)
[モーメント](#)

[キーワード検索](#)

[アカウントをお持ちの場合 ログイン](#)



岡山史料ネット
@okayamasiryonet

地域の歴史・文化を守り、伝えるために活動しています。〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学文学部日本史研究室内 電話&FAX: 086-251-7442 email: okayamasiryonet@gmail.com

[okayamasiryonet.s1008.xrea.com](#)

2018年7月に登録

37 画像と動画

ツイート 292

フォロー 41

フォロワー 674

いいね 246

[フォローする](#)

ツイート ツイートと返信 メディア

固定されたツイート

岡山史料ネット @okayamasiryonet · 11月30日

西日本豪雨から1年以上経過した今も、岡山では被災した古文書の修復を進めています。今年の台風19号によって被災した古文書は、宮城史料ネット@MiyagiShiryounetや信州史料ネット@shinshushiryounetがボランティアを募り修復を進めています。こちらもご協力をお願いします。



修復・整理ボランティア募集(2019年12月) | 岡山史料ネット

現在、2018年7月、8月に倉敷市真備町でレスキューした被災資料の修復・整理作業を岡山大学で行っています。11月の作業日は18日(月)です。 ...
okayamasiryonet.s1008.xrea.com

岡山史料ネットさんがリツイート

宮城史料保全ネットワーク @MiyagiShiryounet · 11月27日

宮城史料ネット事務局です。12月の歴史資料保全ボランティアの募集を開始いたしました。

通常通り毎週月曜日(23日と30日はお休み)の実施ですが、現在は、東日本大震災被災資料のクリーニングは一時中断し、台風19号の被災資料のクリーニング作業を行っております。

358号 歴史資料保全のボランティアを募集します

皆様におかれましては、いつも宮城史料ネットへのご協力ありがとうございます。宮城史料ネットは現在、台風19号の...

miyagi-shiryounet.org

岡山史料ネットさんがリツイート

信州史料ネット @shinshushiryounet · 11月30日

12月から長野市立博物館における信州史料ネットの保全活動を、原則として、金曜日、土曜日、日曜日の3日間とさせていただきます。どうかよろしくご協力をお願いします。

岡山史料ネットさんがリツイート

museumnews.jp @museumnews_jp · 11月17日

歴史的資料 災害から守り後世に伝えたい yomiuri.co.jp/editorial/2019... 地域の歩みや伝統を伝える貴重な資料を自然災害から守り、後世に伝えていきたい。台風19号がもたらした水害で各地の博物館や図書館が浸水して、歴史的な資料や書籍などに大きな被害が出た。川崎市では、多摩川沿いにある市民ミ...

Twitterの新機能をすべて利用するには、
ログインしてください。

[ログイン](#)

[アカウント作成](#)

世界中のトレンド

#低確率イヌヌワンチャレンジ
7,770件のツイート

免許取り消し
11,218件のツイート

サイバーマナーデー
クリスマス前のセール「サイバーマナーデー」で何をかう? 🛒

#あなたの服星さを計画
1,639件のツイート

差し戻し
2,384件のツイート

EVA8
1,392件のツイート

ENCORE
156,987件のツイート

納税記録
18,005件のツイート

家庭教師ヒットマンREBORN
8,000件のツイート

櫻井の理屈

© 2019 Twitter Twitterについて
ヘルプセンター 規約 プライバシーポリシー
クッキー 広告について

古い書類・手紙・日記
が出てきたら

岡山史料ネットにご連絡をお願いします！



歴史資料とは？

- ◎古文書（和紙に墨で書かれた書類など）
- ◎古い本
- ◎写真・絵・手紙・日記など
- ◎掛け軸・古いふすま・屏風など
- ◎自治会や組合などの団体の記録
- ◎古い食器・着物・農具など

水害により被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

私たち岡山史料ネットは、災害から歴史資料を守る活動を行なうボランティア団体です。これまでも多くの災害現場で資料の救出に当たってきました。

歴史資料は、皆さまの家や地域の歴史を伝える貴重な文化財です。これからの復興にあたって、心の支えとなってくれるにちがいありません。紙くずのように見えるものでも、貴重な歴史資料である場合がよくあります。ゴミ出しの前にぜひ一度ご確認をお願いいたします！

水にぬれたり泥をかぶったりしても資料の修復は可能です。

「もうダメだ」とあきらめて捨てたり焼いたりせず、下記まで直接ご相談ください。資料の整理や一時保管などをお手伝いします。

お問い合わせ・ご相談は

岡山史料ネット（代表 今津勝紀・岡山大学教授）

〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1 岡山大学文学部内

電話&FAX 086-251-7442

e-mail: okayamasiryonet@gmail.com

Twitter: @okayamasiryonet（右記 QR コードをご利用ください）



応急処置方法

水濡れの歴史資料を乾かすには…？

※古い記録、古文書（こもんじょ）、写真… 残しておきたいものを捨てないで済むように、ご家庭でする簡単な処置方法をご紹介します。もっとも、完全に乾かすためには、専門家の技術が必要です。お困りになった際は、いつでもご連絡ください（裏面）。相談に応じます。

◆◆やってはいけないこと◆◆

- ※冊子を無理にこじりあげないでください。
- ※天日やアイロン・ドライヤー・電子レンジでの急激な乾燥は歴史資料を傷めますのでおやめください。
- ※とにかく捨てないでください！ ⇒ 迷った際はすぐにご連絡を！

◆◆応急措置の方法◆◆

全てを行う必要はありません！電気や水道のライフラインの復旧状況が許す範囲内でご対応下さい。

軽い水濡れの場合

【紙の歴史資料の場合】

- ※防カビのため消毒用エタノール（エチルアルコール）を噴霧してください（可能であれば、一日一回）
- ※直射日光の当たらない、通気性のよい場所で陰干しをしてください。
- 【室内で乾かす場合】可能であれば、扇風機などを利用し、空気が循環するように心がけてください。

ただし、歴史資料に直接風をあてるのは避けてください。

【余裕があれば】歴史資料にキッチンペーパーを挟んで吸水乾燥処理を行うこともできます（但し、無理にこじ開けないでください）。
⇒吸水乾燥処置方法の詳細をお知りになりたい場合は、ご連絡ください。マニュアルをお渡しいたします。

【写真の場合】
※写真プリントは、清潔な水をはった容器の中でゆっくりゆすって汚れを落とします（汚れをぬぐわないでください）。あとは洗濯バサミなどで挟みをとめて吊るし、直射日光の当たらない、通気性のよい場所で陰干ししてください。

※写真のネガも直射日光の当たらない、通気性のよい場所で陰干ししてください。その後は専門業者にご相談ください。

泥などで汚れている場合

※泥のカタマリなど、落とせるものは落としてください。消毒用エタノール（エチルアルコール）を噴霧し、そのままの状態でもビニール袋に入れます。封はとくにしないでください。

⇒この段階で一度、必ずご連絡を入れてください。専門処理機関に真空凍結乾燥法や吸水乾燥法により乾燥させます。乾燥作業が終了した後に、お返しいたします。

※防カビのための処置で最もよいのは、冷凍凍結です。ご家庭の冷凍庫でも対応可能です。

地域の歩みを伝える貴重な歴史資料を守る活動に何とぞご理解をいただき、

ご協力いただきますようお願い申し上げます。



真備図書館

公文書類は県立記録資料館
がレスキュー





真備歴史民俗資料館

倉敷I家文書のレスキュー
I家文書の本体は無事



岡山市北区御津町M家

片付けボランティアさんによるレスキュー例



UJI-WEB | 時事通信社

<http://ujiweb.jiji.com/apps3/do/contents/view/4c1130a529443c4edcf0946ab8b0ae70/201...>

● 最新ニュース ● 社会

社会

「歴史の遺産」捨てないで＝旧家で水没、文書「救出」－西日本豪雨・岡山 (2018/08/02-06:41)

西日本豪雨で浸水した岡山県内の民家などから、地域の歴史を伝える文書などの資料を「救出」する動きが出ている。ボランティアが作業中に見つけることもあり、専門家は「復興のためにも歴史の遺産が必要。簡単に捨てないでほしい」と呼び掛けている。

明治42(1909)年の英語教科書に、大正5(1916)年の「醤油(しょうゆ)製造帳」。広げた新聞紙の上に、水をかぶって傷んだ古い文書が並ぶ。大半は明治から戦前にかけてのもので、家主とみられる人物の日記や手紙もあった。

岡山市内の浸水した家で、ボランティア活動をしていた吉岡佐都さん(28)らが偶然見つけた。しょうゆを醸造していた旧家の蔵。回収し、被災した歴史資料の保全に取り組む「岡山史料ネット」に持ち込んだ。



「岡山史料ネット」事務局がある岡山大に持ち込まれた古い資料＝7月26日午後、岡山市



水没し、持ち込まれた古い資料を見る今津勝紀きん(右)、吉岡佐都さん(左端)ら＝7月26日午後、岡山市

市教育委員会の職員で、学芸員の資格を持つ吉岡さんが史料ネットの活動を思い出し、連絡を取った。「捨てるのは簡単だけど、失われると取り戻せない。日記も後世のためになる」。資料は防かび処理を施され、簡単な目録を作った上で、事務局のある岡山大で当面保管する。

史料ネットは被害が大きかった倉敷市真備町地区で、水没した図書館や歴史民俗資料館に収蔵されていた資料などを回収。今後被害が激しかった地域で、家屋に残された資料の保全を進める。

代表の今津勝紀岡山大教授(55)は「人間の生活は文化に支えられている。新しく町をつくるためにも、地域の過去の記録を伝える遺産は復興のよりどころになる」と話している。(了)

倉敷市真備町H家

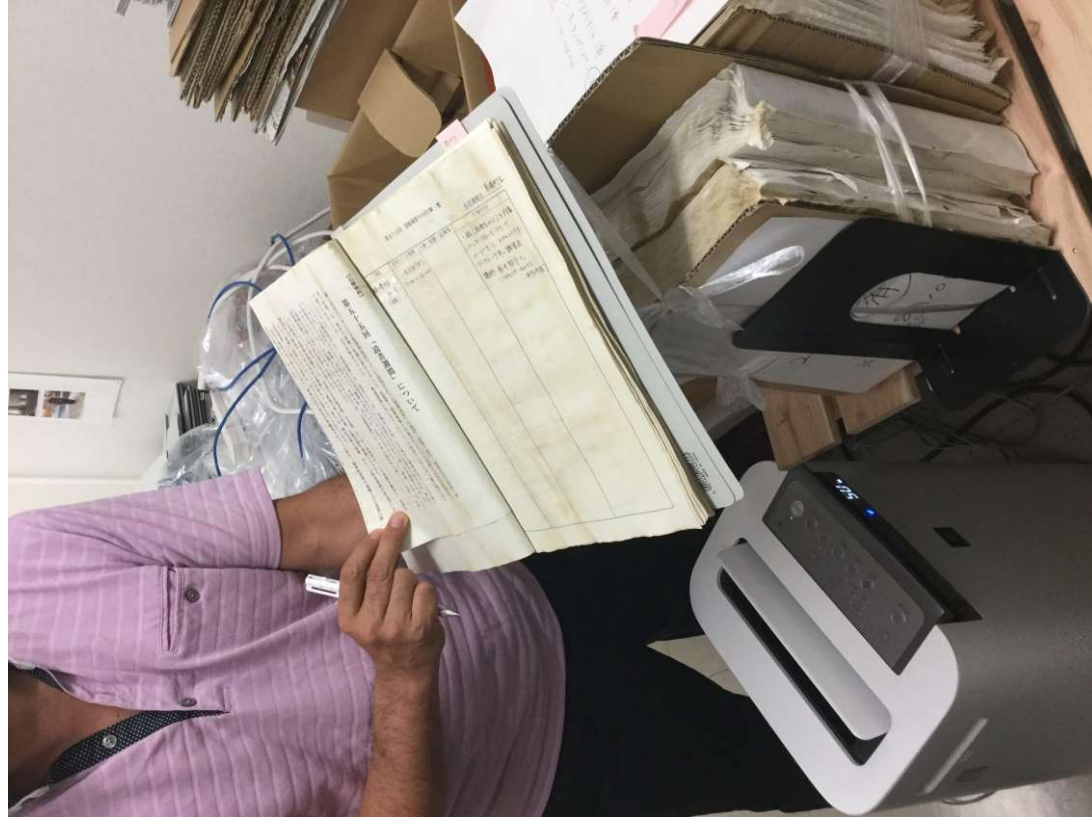
岡大冷凍、県冷蔵中





倉敷市真備支所の公文書レスキュー

冷蔵会社に搬入
県ネットが調整



県立記録資料館での公文
書レスキュー

県立美術館・YeYによる個人宅の
「大切なもの」のレスキュー、この後、
ノートルダム清心女子大学に移動し
て実施。

ノートルダム清心女子大学ではアル
バムのレスキュー

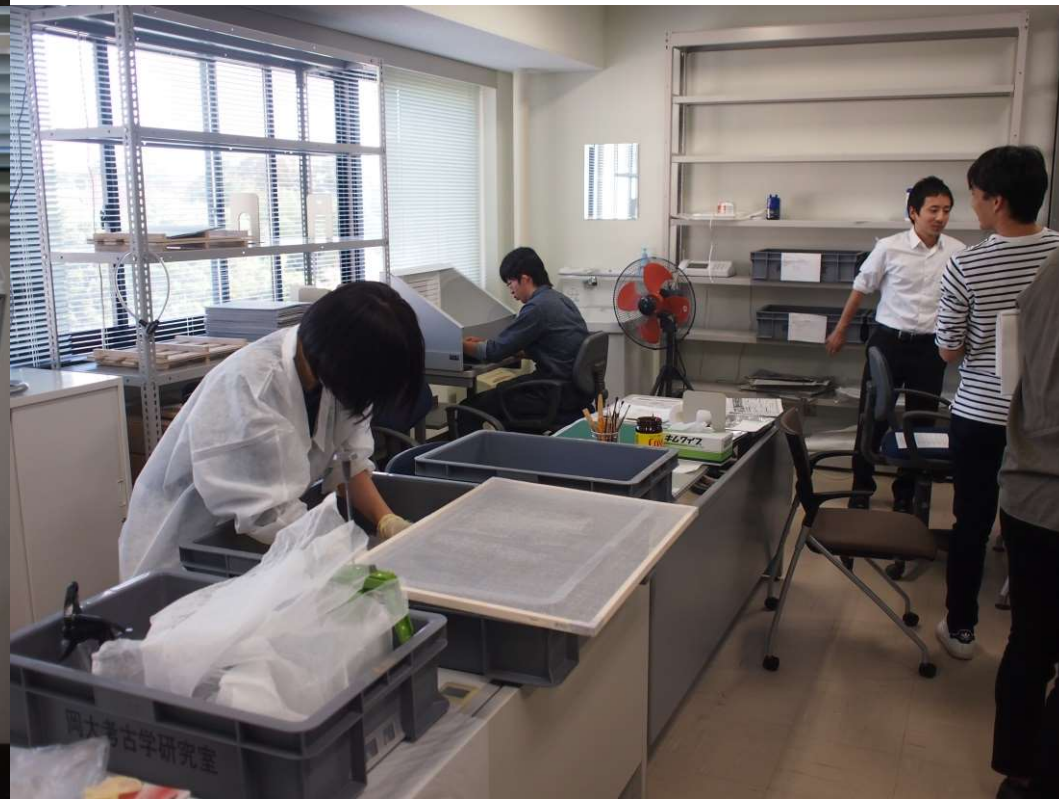




岡山大学
OKAYAMA UNIV.

岡山大学大学院社会文化科学研究科 文明動態学研究センター(現:研究所)

岡山史料ネットによるレスキュー



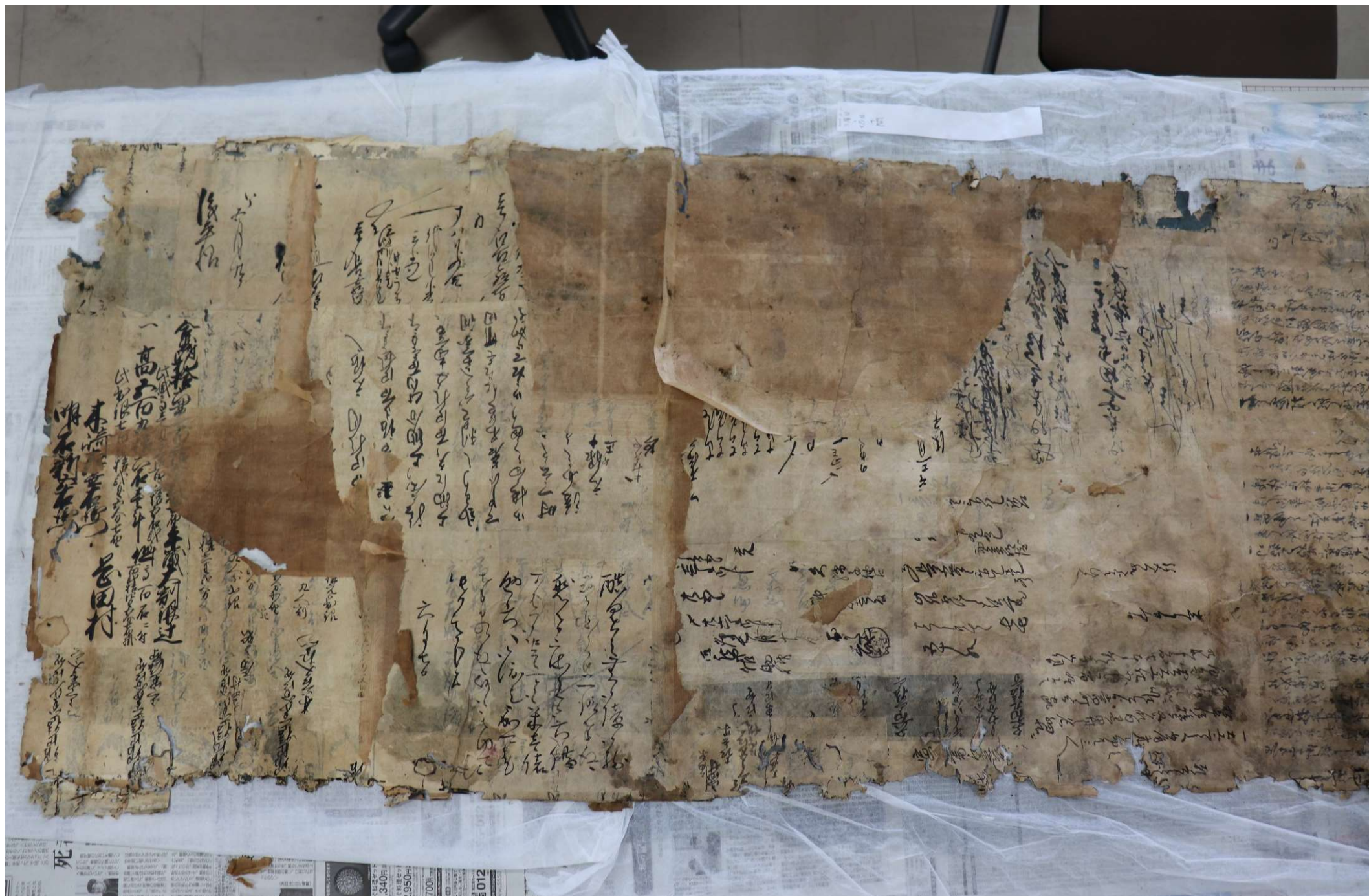


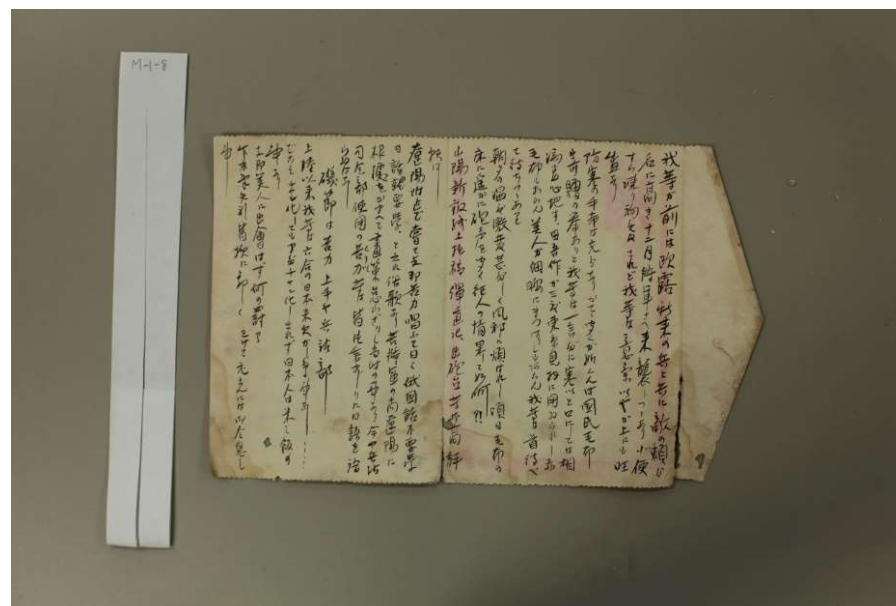
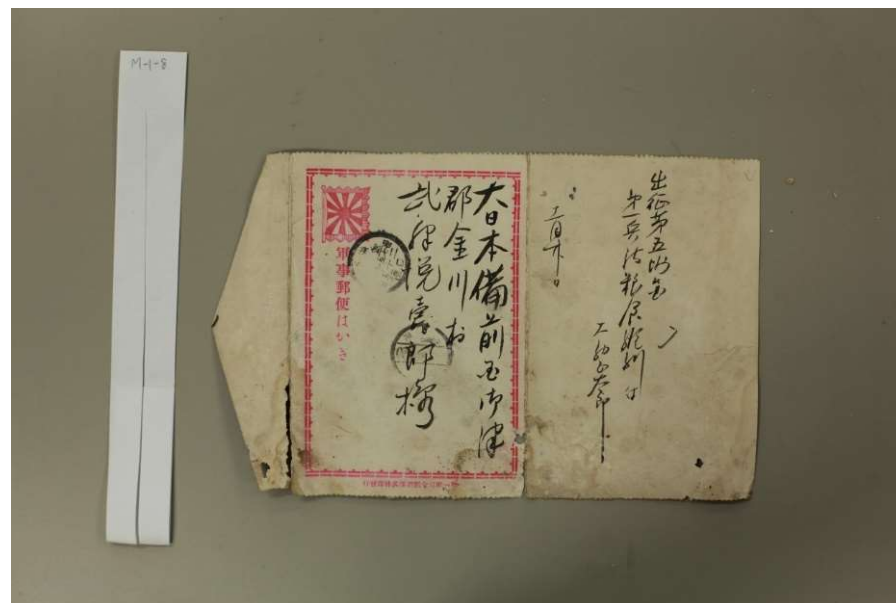
市民ボランティア・学生による作業

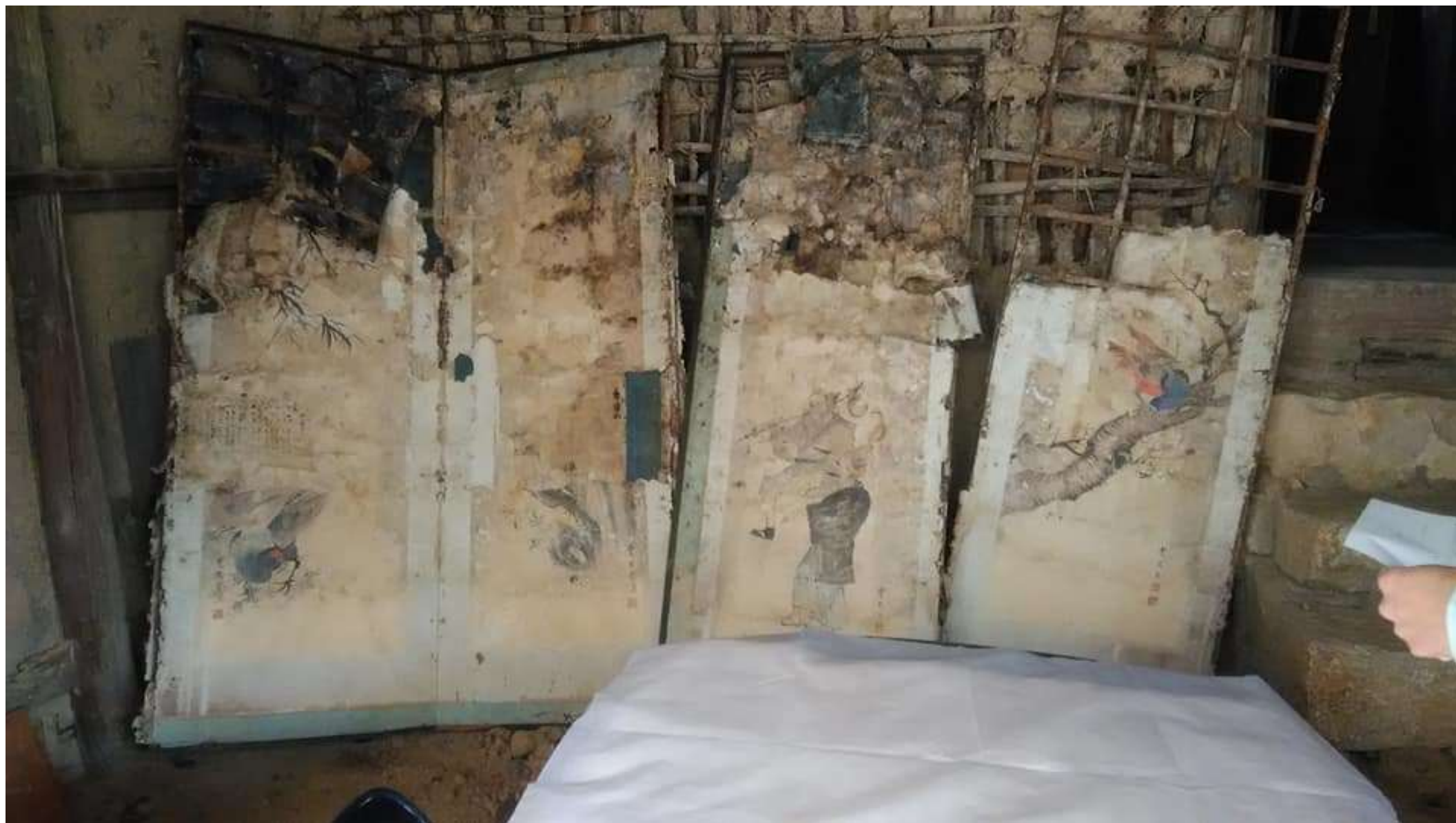
洗浄・吸水・乾燥

撮影・目録作成→返却







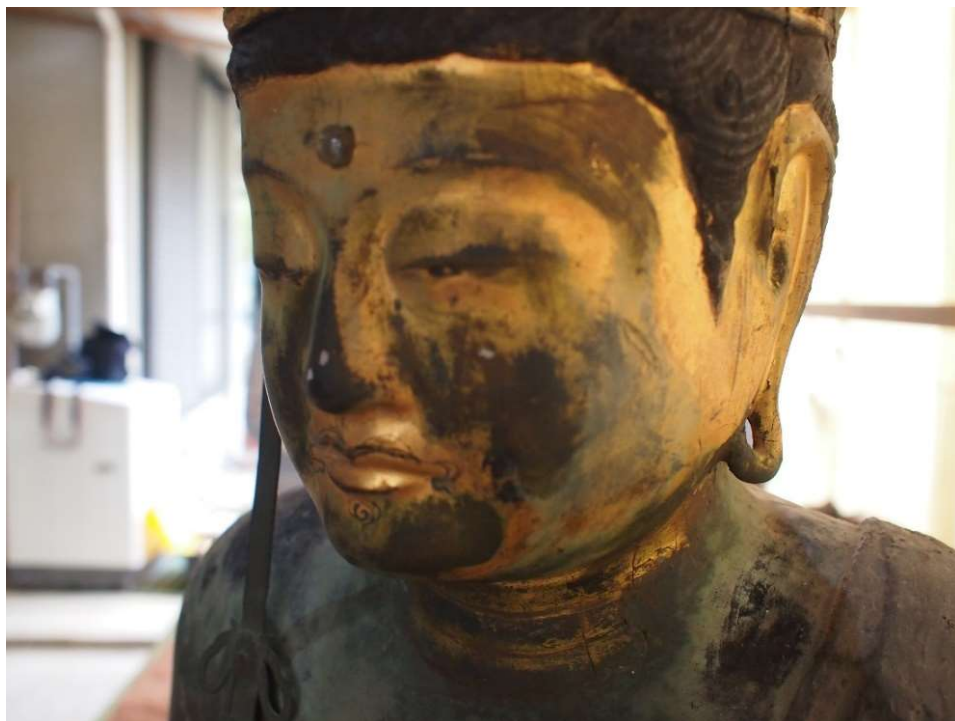




仏像のレスキュー例



岡山大学
OKAYAMA UNIV.



修復して展示



岡山大学
OKAYAMA UNIV.

真備の豪雨被災仏像2体修復進む 県内の仏師や学芸員らが連携

2019年06月26日 23時24分 更新



西日本豪雨の被害を受けた仏像の修理方針を話し合う長谷川さん（右端）、中田統括学芸員（左端）ら＝13日、赤磐市

⇒この写真の記事へ



西日本豪雨災害被災文化財の修復完成

伝える、 祈りのこころ

—真備町大日庵の仏さま—

令和元年
7.17〔水〕－8.25〔日〕

【開館時間】午前9時～午後6時
【休館日】7月22日（月）～29日（月）、
8月5日（月）～13日（火）、19日（月）
【入館料】大人 250円、65歳以上 120円、高校生以下無料
【会場】岡山県立博物館 第2展示室（コーナー展示）



被災当時の大日庵の様子



被災資料（屏風）

昨年の西日本豪雨災害は県南各地に甚大な被害をもたらしました。被災後の混乱のなか、真備町有井にあった大日庵の仏像が県内の青年僧有志によって濁水から引き揚げられ、そのうちの2体が当館に持ち込まれました。その後、岡山史料ネットの仲介によって助成金を得ることができ、仏師による丁寧な修理をすることができました。まる1年を経ての仏さま復活です。

今回、修復作業が終了した仏像は、いずれも平安時代の後期（12世紀）頃に制作されたものです。解体作業の結果、2018年夏までの約900年にわたる年月の間に、何度も修復を繰り返し守り伝えられてきたことがわかりました。

今回のコーナー展示では、修復を終えた仏像のほか、岡山史料ネットの活動も紹介します。



本館蔵西天立像 真備町大日庵所蔵

GBFund

芸術・文化による
災害復興支援
●ファンダ●

【主催】岡山県立博物館、岡山県教育委員会
【協力】岡山史料ネット、岡山大学文学部総合学術センター
【助成】GBFund 芸術・文化による災害復興支援ファンド

GBFundは東日本大震災災害をきっかけに、2011年3月23日に企業メセナ協議会が立ち上げた芸術・文化による復興支援ファンドです。

岡山県立博物館
Okayama Prefectural Museum

〒703-8257 岡山県岡山市北区後楽園1-5
TEL: 086-272-1149（代表）FAX: 086-272-1150
http://www.pref.okayama.jp/kyouka/kenshoku/hakubutsu.htm

Restoration funded by corporate
patronage
Exhibited at the museum



Ex-soldier's photo album, 1932.



岡山史料ネット トップページ 岡山史料ネットについて 西暦らせ ニュースレター 入会・費村 会員用ページ



新着情報

2019年7月21日 新報・旭報オンライン版(2019年7月)
2019年7月21日 2019年度岡山史料ネット総会・活動報告会(西日本新聞と紙文資料の救出保存)を開催し
ます(2/28)
2019年7月21日 岡山県立博物館展示「西日本新聞と紙文資料の救出保存 伝える街のこころー西郷
城(1)篇の伝来と研究」の告知
2019年5月31日 新報・旭報オンライン版(2019年6月)
2019年5月31日 新報・旭報オンライン版(2019年5月)
2019年4月12日 岡山史料ネット Newsletter 発行
2019年4月4日 岡山史料ネットHP開設



岡山史料ネット
〒700-8530 岡山県北(津島市)3-1-1 岡山大学日本学研究所内
電話086-859-3974
e-mail: okayamasiryonet@gmail.com(メールを希望してください)
Twitter Facebook Instagram

会員登録

会員登録

ログイン

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

パスワード

事務局、
運営委員
会員

サポート会員

登録者

123人

2019.12.6現在

<http://okayamasiryonet.s1008.xrea.com/>

個人会員によるボランティア組織とする。機関構成員は個人の資格で参加。
会員は会費1000円を納め、総会の議決に参加する。
管理運営のため運営委員を選び、事務局を設ける。事務局には代表・副代表・事務局長・会計・広報・監事、顧問。
年に数回の運営委員会、年一度総会。



岡山
史料ネット
Newsletter
Vol. 1
2019.3

倉敷市真備町

岡山
史料ネット
Newsletter
Vol. 2
2019. 9

水害により傾いた倉敷市真備町の大日池

岡山史料ネット代表 今津勝

岡山地方史研究

147

2019.4

■特集 西日本豪雨災害と歴史資料(1)

西日本豪雨被災資料の救出と保全
—岡山史料ネットの取り組み—

平成三〇年七月豪雨における岡山県立記録資料館の対応

岡山地方史研究会一二月例会参加記

研究ノート
明治末から大正期の文人ネットワーク
—片岡高立宛の柚木玉邸書簡からみる—史料紹介
池田綱政の「心覚ノ書」
—万治二年二度目の帰国中の綱政—

2018年度会計報告・2019年度会計予算

編集後記

岡山地方史研究会

上村和史

山下香

東野将

内池

倉

岡山地方史研究

148

2019.8

■特集 西日本豪雨災害と歴史資料(2)

平成三〇年七月豪雨災害からの公文書処置の経験

豪雨災害を体験して

岡山県文化財等救済ネットワークの活動について

平成三〇年七月豪雨被災と「大切なもの」チームとの協同

平成30年7月西日本豪雨災害における西日本豪雨災害
「大切なもの」無償応急処置出来る事を出来るだけ
チームについて泥の中から80年前の音楽を救出
—倉敷・真備の水没レコード—研究ノート
浦上家宿老・島村氏の研究(二)
—浦上政宗・宗景の時代—

歴史談話室・編集後記

岡山地方史研究

山本

浅野

内池

藤

斎

小

岡山地方史研究

149

2019.12

■特集 西日本豪雨災害と歴史資料(3)

編入自治体の歴史的公文書の保存
—岡山市立図書館の取組経緯から—

昭和九(一九三四)年室戸台風被災文化財から今学ぶこと

文化財等レスキュー活動について

天神山文化プラザでの「大切なもの」無償応急処置活動
—地域の遺産を守るために—

岡山史料ネット活動参加記

ボランティア参加記

被災資料救出・保全のその後
—岡山史料ネットの取り組み—論文
備前岡山の東照宮祭礼
—藩主光政の時代、寛文五年まで—

編集後記

岡山地方史研究会

飯島章仁(1)

野田満子(14)

福富幸(17)

加藤淳子(22)

岡田康佑(25)

桐部恵子(27)

上村和史(43)

田中

豊(28)

(44)

プロジェクトチーム

文化財防災センター > プロジェクトチーム

文化財防災のための体制

災害が起きた際、初動対応の迅速化と連携・情報共有の強化を図るため、全体を統括する文化財防災センターを奈良文化財研究所内に設置し、東日本ブロックと西日本ブロックとに分け、東京文化財研究所が東日本の中核拠点となり、奈良文化財研究所が西日本の中核拠点となります。

さらに、東日本ブロックの東京文化財研究所・東京国立博物館、西日本ブロックの奈良文化財研究所・京都国立博物館・奈良国立博物館・九州国立博物館の2研究所・4博物館、合計6施設によってプロジェクトチームを構成し、施設間連携による調査研究や、担当地域の地域防災体制の構築、災害発生時の緊急支援など、様々な文化財防災関連の事業を行います。

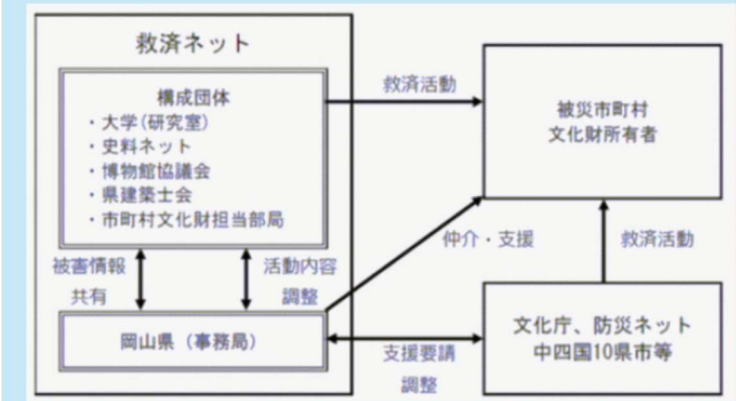
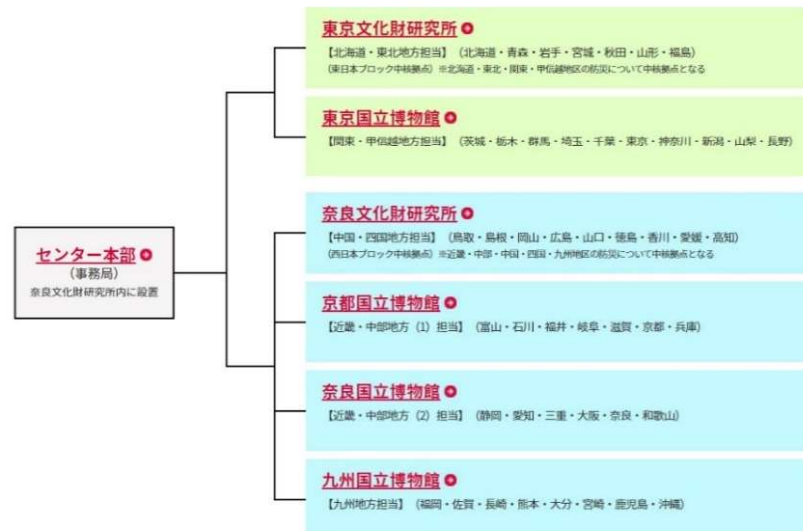


図1 岡山県文化財等救済ネットワーク模式図

国 と 県

改正文化財保護法→都道府県の
文化財保存活用大綱

- 組織概要
 - センター長ご挨拶
 - 事業内容
 - 組織体制
 - 推進会議
 - 有識者会議
- 活動実績
 - 地域防災体制の構築
 - 災害時ガイドラインの整備
 - レスキューおよび収蔵・展示における技術開発
 - 普及啓発
 - 文化財防災に関する情報の収集と活用
 - 災害時及び防災の支援
 - その他
- 文化財防災体制
 - 地域
 - 文化財類型
 - 施設
 - 文化財被災時対応
 - 災害時対応ガイドライン
 - 文化財レスキュー
 - 文化財ドクター
- データ集
 - 刊行物/制作物
 - 画像/動画
 - 地域防災計画
 - 文化財防災マニュアル
 - 被災文化財関連リンク集
- プロジェクトチーム
 - 文化財防災センター
 - 奈良文化財研究所
 - 東京文化財研究所
 - 東京国立博物館
 - 京都国立博物館
 - 奈良国立博物館
 - 九州国立博物館
- お知らせ
 - イベント新着
 - その他の新着
 - お問い合わせ
 - よくある質問
 - サイトポリシー
 - 関連リンク
 - サイトマップ

大学とネットの関係



岡山大学
OKAYAMA UNIV.

表 日本各地の地域歴史資料保全ネットワーク一覧（歴史資料ネットワーク把握分）

名称	成立年	活動府県	成立契機	大学に連携
歴史資料ネットワーク	1995	兵庫大阪京都	阪神・淡路大震災	神戸大学
山陰歴史資料ネットワーク	2000	鳥取・島根	鳥取県西部地震	島根大学
芸予地震被災資料救出ネットワーク愛媛	2001	愛媛	芸予地震	愛媛大学
広島歴史資料ネットワーク	2001	広島	芸予地震	広島大学
資料ネットやまぐち	2001	山口	芸予地震	山口大学
宮城歴史資料保全ネットワーク	2003	宮城	宮城県北部地震	東北大学
福井史料ネットワーク	2004	福井	福井水害	
新潟歴史資料救済ネットワーク	2004	新潟	中越地震	新潟大学
宮崎歴史資料ネットワーク	2005	宮崎	2005年台風14号	
岡山史料ネット	2005	岡山	予防	岡山大学
ふくしま歴史資料保存ネットワーク	2006	福島	予防	福島大学
山形文化遺産防災ネットワーク	2008	山形	予防	
千葉歴史・自然資料救済ネットワーク	2009	千葉	予防	千葉大学
茨城文化財・歴史資料救済・保存ネットワーク	2011	茨城（栃木）	東日本大震災	茨城大学
地域史料保全有志の会	2011	長野	2011/3長野県北部地震	
岩手歴史民俗ネットワーク	2011	岩手	東日本大震災	盛岡大学
歴史的・文化的遺産保存活用連携ネットワーク（三重）	2011	三重	予防	
神奈川地域資料保全ネットワーク	2011	神奈川	予防	横浜国立大学
歴史資料保存ネット・わかやま	2011	和歌山	2011年台風12号	
静岡県文化財等救済ネットワーク	2012	静岡	予防	
歴史資料保全ネットワーク・徳島	2012	徳島	予防	徳島教育大学
鹿児島歴史資料防災ネットワーク（準）	2013	鹿児島	予防	鹿児島大学
長野被災建物・史料救援ネット	2014	長野（北部）	長野県神城断層地震	
熊本被災史料レスキューネットワーク	2016	熊本	熊本地震	熊本大学

文明動態学研究所

研究

災害と人類社会の動態的研究、被災資料保全方法の研究

@科研費

@運営費交付金など

教育

他大学とも共同した教育プログラムの開発
例：文学部実践演習（地域歴史遺産）

実践

人間文化研究機構・
国立歴史民俗博物館

岡山史料ネット

ボランティアによる活動
全国からの寄附

岡山史料ネット事務局

代表・副代表
会計・広報・監事

《目標》

社会文化科学研究科では、グローバル化する世界において、人間のよりよい生活のあり方を模索するとともに、歴史と文化の多様性に支えられた新たな地域社会の実現を目指す。

《概要》

災害時に滅失する可能性の高い、地域の歴史遺産の保全と活用に関する理論と実践を学ぶことで、地域社会と住民意識・歴史意識の相互関係を理解し、多様で開かれたレジリエントな地域社会づくりに貢献できる人材を育成する。岡山県下を中心とした地域歴史遺産の保全と活用を通じて、我が国の多様な地域文化を掘り起こし、地方創生につなげる。

《今後の予定》

平成30（2018）年度よりはじまった、神戸大学・東北大学・人間文化研究機構を中核拠点とする「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」に参加する。全国の「史料ネット」活動を展開する各大学が連携し、地域社会における歴史文化継承の担い手養成に向けた教育プログラムの開発と、国内外にむけた情報発信を行う。

岡山大学大学院社会文化科学研究科（文） 教授 今津 勝紀



西日本大水害で被災した倉敷市真備町での古文書の緊急レスキュー



倉敷市真備町の旧家から救出した古文書の洗浄作業を市民ボランティアと一緒に

災害時の多様な取り組み



残す。

西日本豪雨災害

私たちは真備に何を残そうとしたのか

西日本豪雨災害「残す。」編集チーム 編著

【残す】

岡山県教育庁文化財課・倉敷市歴史資料整備室・岡山県立記録資料館・岡山県立博物館・**岡山史料ネット**・真備写真洗浄@あらいぐま岡山・ノートルダム清心女子大学・岡山県立美術館・絵画修復工房YeY・山本金属製作所・Team桃太郎・「楽器なおし隊」。

【つなぐ】

岡山県天神山プラザ・特定非営利法人岡山NPOセンター・特定非営利活動法人みんなの集落研究所・（公財）みんなでつくる財団岡山・川辺復興プロジェクトあるく・いのりんジャパン。

【伝える】

岡山シティミュージアム・NHK岡山放送局・山陽新聞社・倉敷市立美術館・画家・版画家・現代美術家・表具師・日本画修復士・油彩画修復士・龍昌院

CFで制作、吉備人出版

<https://www.kibito.co.jp/nokosu/> ダウンロード可

- **地域の文化財・歴史遺産の保存・活用**
- **社会心理学的支援**
- **社会的関係の復原と再生**
- **新たな地域社会の創造へ**